

## 編集 後記

日本公衆衛生雑誌第55巻第10号をお届けします。本号では、原著2編、資料1編、その他に会員の声1編、連載3編を掲載しております。原著2編は、母子保健、小児の発達に関するものです。1編は、夜泣きなどの乳幼児の睡眠問題、児の睡眠に関連した養育行動、母親の睡眠問題、母親の健康問題という4要因の関係を分析しており、養育行動の影響について興味深い結果を提供しております。次の1編は、双子児に関する研究で、双子だけで通じる独自の言葉である twin language と社会性の発達との関係について分析しています。本学会誌としては、比較的新しい内容の論文ではないかと思われま。資料論文は、人々の信頼関係、規範、ネットワークなど社会組織の特徴を意味する概念であるソーシャルキャピタルに注目し、保健師による地区評価との関係について検討した論文です。保健師の地区評価の確かさを示す内容ともなっております。

前回私が担当した編集後記において、本学会誌は内容の多様性が大きな魅力の一つであると述べました。本号も、内容の多様性には十分なものがあります。また、養育行動の是非に触れようとする点、twin language というやや特殊な題材を扱おうとする点、ソーシャルキャピタルという社会学、政治学、経済学などで一般的な概念

### 次号予告 (第55巻・第11号)

#### 公衆衛生活動報告

地域住民と行政の協働による「せたがや元気体操リーダー」の養成と活動支援システムの構築にむけての取り組み……………白澤貴子, 他

#### 資料

自治体病院の医業収支推移に関する規模別要因分析……………大坪徹也, 他  
歯列・咬合異常が高校生の心身の健康意識に及ぼす影響……………井上さやか, 他

#### 連載

運動・身体活動と公衆衛生(9)……………内藤義彦  
わが国の結核対策の現状と課題(3)……………石川信克  
21世紀の地域保健(3)……………山口 亮

を公衆衛生に導入しようという点など、それぞれに意欲的な論文と言えるでしょう。ただし、掲載投稿論文の数がやや少ないことが少々残念です。掲載論文数は、査読の進行状況、前後の号の論文数、編集企画など様々な要因が関わるため、投稿数のみで決まるわけではありません。しかし、投稿数が多くなれば掲載論文も増える可能性が高くなります。これからも、多くの職種の方々による、さらに多岐にわたる分野の意欲あふれる投稿を期待しております。  
(新野直明)

## 第2報「第1回アジア太平洋ヘルスプロモーション健康教育学会」

メインテーマ ヘルスプロモーション・健康教育に関するアジア太平洋的観点  
—— 経験、努力、エビデンスの共有 ——

会期 2009年7月18日～20日

会場 幕張メッセ国際会議場 (千葉市美浜区)

主催 ・ヘルスプロモーション健康教育世界連合西太平洋北部地(NPWP/IUHPE)  
・日本健康教育学会

#### 基調講演

- ・根拠に基づくヘルスプロモーション
- ・ヘルスプロモートイニングスクール
- ・ヘルスプロモーションと健康都市プロジェクト
- ・ヘルスプロモーションと公正
- ・ヘルスプロモーション・健康教育に関するアジア太平洋的観点

#### メインシンポジウム

- ・健康を増進する学校
- ・労働者の健康増進
- ・ヘルシー・エイジング

一般演題抄録締切

2009年1月31日

公式言語 英語 (基調講演とメインシンポジウムは同時通訳有り)

学会長 武藤 孝司 (IUHPE 理事、獨協医科大学教授)

事務局 獨協医科大学医学部公衆衛生学講座

TEL: 0282 87 2133 FAX: 0282 86 2935 E-mail: apac@dokkyomed.ac.jp  
http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-m/pub/apac.html